

話題③ 「カリキュラムの国際化のために教職員がすべきこと」

■ カリキュラムの国際化に関わる職員に必要なこととは

- ・変化する状況への対応
- ・オープンでグローバルな考え方
- ・異文化適応コンピテンシー

■ どのように能力を伸ばしていくのか

- ・特定の知識と技術
- ・共通理解のために教職員と学生の協働

■ 何が必要か（学生、教職員、ステークホルダー）

- ・認知的、情動的コンピテンシー
- ・適切な戦略、財政的資源、人的資源、連携
- ・個々のニーズに合わせたカスタマイズされた継続的な研修

■ 戦略について

- ・組織的な戦略は職員、学生の文化的背景に適さないことがあるため、評価や支援が十分でないと感じることがある
- ・人的資源としてオープンで、深く考え、グローバルな考え方ができること
- ・資金調達、専門知識、ネットワーク、適切な人員選抜・配置・育成・連携が必要

■ カリキュラムの国際化による影響（学生、職員、プログラム、高等教育、社会）

学生と教職員：

- ・将来を見据えた知識とスキル
- ・オープンでグローバルな視点
- ・多言語、多文化対応力
- ・学際的能力、変化への適応力を養うための教育と支援

スタディプログラム：

- ・雇用される能力と公平性
- ・グローバルとローカル
- ・学生、学習者中心のプログラム

高等教育機関：

- ・ローカルな文化的背景におけるグローバルな視点
- ・全職員を対象とした個別のニーズに合うカスタマイズされ、継続性のある研修の実施
- ・様々な専門分野・部署を超えて建設的な議論、有意義な協力・協働の推進

社会：

- ・多様な意見や考え方を包括的に理解し、繋ぎ、認識を共有することで、革新的かつ協調的な思考、学修、仕事へと繋げることができる。

■ 社会における重要性

- ・共通理解の構築、新たな機会の創出、架け橋、相乗効果になる
- ・持続可能で革新的な高等教育、社会にとって欠かせないものである